



昭和27年1月11日
第三種郵便物認可第764号
平成31年3月25日発行
(毎月25日発行)

福祉だより 信州

No.
764
2019 4月号

よっ!
新風人



CONTENTS

- みんなで取り組む地域共生・信州 2
- 福祉保険サービス広告 5
- 県社協情報局 6
- おらほの縁パワー活動! 7
- よっ!新風人・今月の逸品・ざわめくアート 8



ふっころ
長野県社会福祉協議会
公式キャラクター

“福祉×○○”で 地域の持つ可能性を拓く

～第2回地域共生社会推進長野フォーラムから～



第2回地域共生社会推進長野フォーラム
2月28日(木)松本市浅間温泉文化センターにて330名が参加。

誰もが活躍でき、持続する地域社会を目指して

このフォーラムは、`我が事・丸ごと、による「地域共生社会」の実現、
`まち・ひと・しごと総合戦略、による「地方創生」、`誰一人取り残さない
持続可能で多様性と包摂性のある社会実現、に向けた「持続可能な開
発目標（SDGs）」これらの目標達成に共通するキーワードである「地
域」に着目し、人と人、人と資源が世代や分野の垣根を超えてつながり、
ともに創っていく社会を考えました。

ここでは、フォーラムの後半に行われたパネルディスカッションの内容を
お伝えします。



西澤さん
(箕輪町社
会福祉協議
会 地域福祉
コーディネー

ター)は、職場から貸与されたユニ
フォームの右肩部分に書かれた「いつ

「福祉×地域」
「いつもあなたとともに」



も「あなたとともに」という大事な
理念、気持ちを背負っていつも仕事に
あたっています。

コーディネーター業務を「地域で支え
る」「地域を支える」「地域と支え
る」の3つの柱で捉え、住民からの相
談を生活丸ごと受け止め、地域を巻き
込みながら、住まうことを支えたり居
場所や活躍の場所を探します。そし
て、地域との関係がうまくいっていな
い場合は、本人の気持ちや想いを地域
の人に「和文和訳」しながらつなぎ直
す伴走型支援を行っています。

また、箕輪町では認知症見守り協力
団体を登録する「すまいるサポート事
業」という取り組みがあります。現在
80団体ほどが登録しており、個人や家
族を支援するネットワークを形成して
います。商工会や企業などから、地域
の課題に気づいたがどこにつなげばい
いかという声が届くと、「すまいる」
への登録を呼び掛けています。

西澤さんは、地域福祉コーディネー
ターとしての動きやすさを強みに、地
域の一人ひとりのためにソーシャル
ワークを実践しています。「すまい
る」のような仕組みをアイテムとして
活用して、地域の企業や住民とともに
取り組んでいきたいと熱意を伝えまし
た。



新たな地域の創造を目指して、「地域共生」をそれぞれの視点でディスカッション

福祉×林業 筑北地域での農林福連携 の取り組みについて



和栗さん

(筑北村社会福祉協議会

課長)は、平

成22年4月に

地域唯一の障がい福祉サービス事業所である障害者自立支援センターちくほつくるの開所に携わります。その後、事業を継続する中で、日中集う場所、

住む場所など、様々な場所が必要となり、その都度、その人に合った場所やサービスをこの地にしかないもので検討、実行してきました。筑北村のような小規模な村では、近所の相互関係が強い一方、そこから外れてしまった場合には排除につながる恐れがあります。「知らないことも恐怖や排除につながりやすいので、多様性を認め合えるようにそのきっかけや取り組みを考えていきたい」と話します。

そして、農林福事業を始めた経緯としては、地域に林業会社がない中、

松枯れ被害が進んでいくことや、後継者不足による農地荒廃などの課題がある一方、移住者の存在や小さな圃場で稼げる農業、障がい者等の就労人口増などの明るい兆しもありました。

そこで、平成28年度より地方創生事業を活用して木質バイオマスによる循環型の社会実験を実施します。さらに、山際のプレーヤーが加わってきたことにより法人立上げに向け本格的な展開となっていました。

和栗さんは、「人口4,000人の筑北村のミクロの世界のケースワークを林業との連携を通じて全国に発信していきたい」と抱負を語りました。

福祉×企業 セブン・イレブン・ジャパン におけるSDGs



竹谷さん

(セブン・イレブン・ジャパン 総務担当

マネジャー)か

らは、国連サミットで提唱された「持続可能な開発目標(SDGs)」(「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会実現に向けた17の国際目標)に対しての企業としての取り組みが紹介されました。

セブン・イレブン・ジャパンでは、

①高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供、②商品や店舗を通じた安全・安心の提供、③商品、原材料、エネルギーのムダのない利用、④社内外の女性、若者、高齢者の活躍支援、食品ロスへの対応と社会福祉への貢献、⑤お客様、お取引先を巻き込んだエシカル(倫理的・道徳的)な社会づくりと資源の持続可能性向上の5つを重点課題として取り組んでいます。

また、竹谷さんは人口減少社会の中で、今ある店舗をより地域密着にしておく必要性を話します。一方、そのための配達や見守りなどの取り組みは、

店舗だけでは厳しく地域との連携が必要だと実感しています。

地域の持つエネルギーとは何か

西澤さんは自分の人生を考える中で、10年後自分を支援してくれる人がたくさんいたらいいなと思った時、同じ世代ではなくて次の世代を育てておかないと、地域がこれ以上活性化しないというところに気づきました。この部分は、福祉教育が大切になってくるので、対象を広げ、体験から学ぶことを通して地域と生活を密着させていく必要があります。

和栗さんは、1度地域から外に出ることは賛成しています。但し、必ず戻ってきてほしい。そのためには仕事を作っていく必要があります。また、戻ってくるための一番の誇りは人であり、よそ者も受け入れてもらえるような地域を次の世代につなげていくことが重要です。

竹谷さんは、長野県のいいところとして、山の幸とともに子どもたちのあじさつを挙げます。地域の良さに気づけるかどうか、普段の暮らしの中に宝はたくさん落ちているが、そこに気づ

くためには、外からの気づき加わることが必要になります。

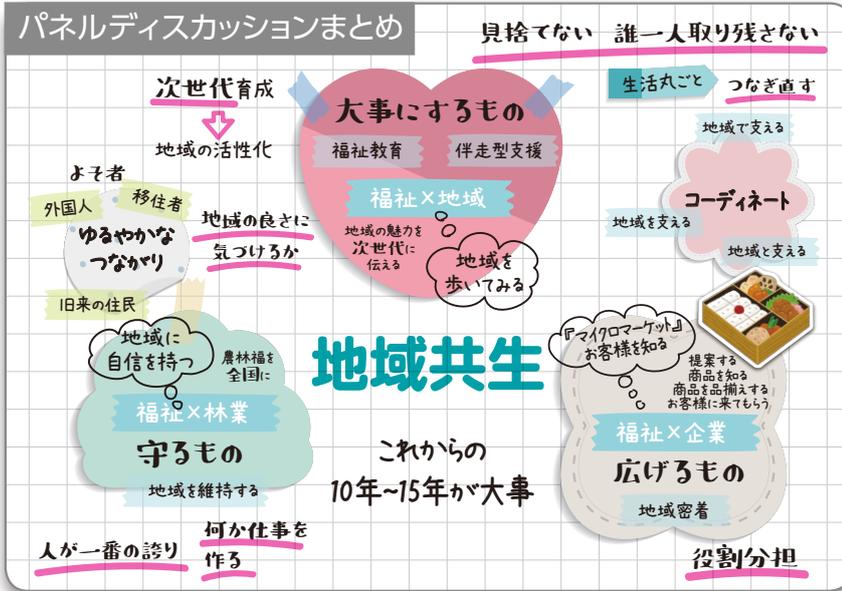


「地域にはエネルギーが満載であるが、住民が求めているものに対して、そのエネルギーを使いこなすには能力が必要である。外国の方が来るかもしれない、よそ者が来るかもしれない、

生まれた子からおじいちゃん、おばあちゃん、障がいのある人、隣の人も一緒にいろいろやろうよという開放性で受け止める、そういうスタンスがパネラーの皆さんにあると思った」とコメントしました。

新たな地域の創造を目指して

上野谷先生は、地域福祉実践だけはきっちり丁寧に残していつてほしいと話しました。そして、「持続継続という意味では、林業・農業と一



緒に福祉がこれからどういふふうにくの人たちを支えられるかが重要であり、そのためには、心をきちんと豊かにできるかというところにヒントがあるだろう」とまとめます。さらに、「国では子ども、高齢、障がいの共生を唱えています。長野はそんなちっぽけなものではない。長野版地域共生社会づくりをもうちょっと広くやってもらってもいいんじゃないですか」とエールが送られました。

長野県地域福祉支援計画がスタートします！

(2019-2022年度)

基本理念

ともに生きる ともに創る 地域創生・信州

世代の違い、障がいの有無、文化の違いなど多様な個性を持った住民がごちゃまぜで暮らし 様々な人や組織の協力による、ライフステージを通じてその人らしい居場所と出番があるあつたか信州の創造



「ごちゃまぜ」の社会

地域の中で、誰もが居場所と役割を持ち、その人らしく生きることのできる「ごちゃまぜ」の社会



「新しいお互い様」の社会

「支え手」「受け手」の役割分担を超えて、皆が地域づくりの主体として支え合う「新しいお互いさま」社会



包括的に支える社会

住民や団体、法人など多様な担い手が地域福祉に参加し、地域性にあわせて自助、互助、共助、公助が包括的に支える社会

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
	天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行所用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJNK18-13568 2019.1.16作成)

平成31年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 **施設業務の補償** (賠償責任保険、動産総合保険)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度 死亡時100万円 入院時15~7万円 通院時1~3.5万円
◆クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4) 改定			

保険期間1年

▶年額保険料(掛金)		定員	基本補償(A型)
補基本 A型	A型	1~50名	35,000~61,460円
		51~100名	68,270~97,000円
		100名以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞 費用 B型	B型	基本補償(A型) 保険料	[見舞費用加算] 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

プラン2 **施設利用者の補償**

プラン3 **施設職員の補償** **改定**

プラン4 **社会福祉法人役員等の補償**

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(SJNK18-12811 2018.12.28作成)

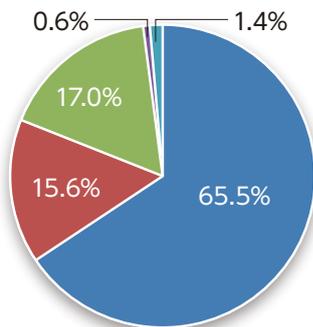


福祉人材の確保・定着に向けて

「キャリアパス・人材育成に関する調査」から

本会では、福祉人材の確保・定着に向け、福祉事業所で能力・資格・経験等に応じた適切な処遇環境が整備されるよう、キャリアパス制度の普及を目指した事業を展開しています。今回、このキャリアパス制度や人材育成の現状について、「福祉・介護職員処遇改善I」（以降「加算I」と表記）を取得している福祉事業所1,526ヶ所を対象に調査を実施しました。（719事業所が回答 [回答率47.1%]）

○年間研修計画の策定と実施状況



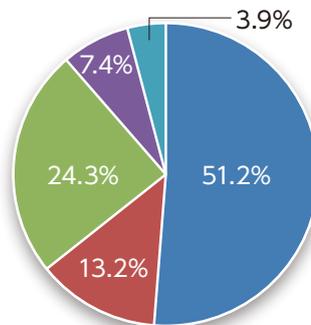
- 年間研修計画を策定し、計画通り実施している。
- 年間研修計画を策定しているが、計画通り実行できていない。
- 年間研修計画を策定していないが、必要に応じて研修を実施している。
- 年間研修計画を策定しておらず、必要な研修が実施できていないと言えない。
- その他

年間研修計画の策定と実施状況を尋ねたところ、「年間研修計画を策定し、計画通り実施している」と回答したのは、471ヶ所（65.5%）でした。一方、研修計画通りできていない、必要な研修が実施できていないと回答したのは116ヶ所（16.1%）で、その理由として、「人員不足」「業務多忙」を挙げています。

○職員の評価について

キャリアパスに基づき、職員の能力獲得状況をどのように評価しているか尋ねたところ、加算Iを取得しているも、まだ半数の事業所がキャリアパスに準じた評価をしていないことが分かりました。

また、株式会社などの営利法人の事業所（212ヶ所）と、社会福祉法人などの非営利法人の事業所（507ヶ所）で集計すると、営利法人事業所では63.2%にあたる134ヶ所が評価していると回答していますが、非営利法人の事業所では46.2%の234ヶ所と、割合で見ると営利法人の事業所のほうが、職員評価に取り組んでいると言えます。



- キャリアパスに基づき段階ごとに評価項目を設定している。
- キャリアパスに基づいていないが、段階ごとに評価項目を設定している。
- 評価項目等の明確な基準はないが、評価を行なっている。
- 評価は行なっていない。
- その他

○今後に向けて

今回の調査から、加算Iを取得している事業所でも、まだキャリアパスの仕組みが十分に機能していないことが見えてきます。本会では、昨年からはじまった、福祉事業者が自らの人材育成・定着に向けた取り組みについて宣言する「信州福祉事業所認証・評価制度」を推進するとともに、キャリアパス制度運用研修（新規事業）などにより、人材の確保・定着に向けた取り組みを実施していきます。

- 福祉・介護職員処遇改善Iは、以下のキャリアパス3要件と、職場環境等要件を満たすことが必要。
 - I…職位・職責・職務内容に応じた任用要件と賃金体系の整備をすること
 - II…資質向上のための計画を策定して、研修の実施または研修の機会を設けること
 - III…経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期的に昇給を判定する仕組みを設けること
- この調査の詳細については、長野県社協ホームページに3月末に公開します。



わくわくの気持ちをカタチに わくわくおたり実行委員会

連絡先 小谷村社会福祉協議会 TEL.0261-82-2430

◇秋晴れの小谷村



温泉施設「サンテインおたり」のホールでは、にぎやかな子どもの声とクラリネットの音。第2回「わくわくおたりいち」の準備真っ最中。

時間になると村中から子どもを抱いたお母さんや、温泉に立ち寄ったお年寄りのみなさんがホールにぞくぞくと集まります。

「こんにちはー」「まってたよー」とやり取りがスタート。子ども服のリユースやお絵かきコーナー、持ち寄ったお漬物から飲み物、産直の野菜販売からハンドメイドの小物、手作りマフラーまで様々なものが並びます。ホールの中は、地域の皆さんで大にぎわい。ハンドトリートメントコーナーのそばには、こたつがふたつ。わくわくおたりいちに来た子どもを自分の孫のように抱っこする笑顔満載のおじいちゃん。その周りを子どもたちが縦横無尽におもちゃを持って飛び回る。

子ども達を見ながらお母さんたちはおしゃべりをしたりお茶を飲んだり笑いが絶えません。そんなこんなで、クラリネットボランティアによる歌声喫茶がはじまりはじまり…全てがごちゃまぜで、この空間全体が暖かな気持ちに包まれていました。



わくわくおたりいち以外のキッチンカーもひとつの目玉。村の皆さんが集える居場所を目指して、形を変えながら必要だと思ふことを考えていきます。

◇小谷村への想いが共感を生み輪が広がる

県北部の中山間地域である小谷村。ここに暮らす方々も様々。いろんな立場で住んでいるからこそ感じる村のこれからや子どもたちのこと。村のことを真剣に考え、言い合いながらもお互いの想いを受け止める。そんな想いを持つ大人が集まり、チームになりました。みんなのできることを、小谷村で暮らす皆さんが顔の見えるつながりのきっかけのひとつが「わくわくおたりいち」でした。

このおたりいちを企画した実行委員が5人。学童保育の代表を務め、学生時代セツルメント活動をしていた方や、県内外とつながる農業女子、キッチンカーで居場所づくりをしたいと公務員から地域おこし協力隊に転身した方、村社協職員や唯一の村出身で有名人の時計店店主。異なったバックボーンを持つ5人が持つ人生があるからこそ感じる小谷村への想いがあり、それぞれが持つ特技やネットワークを持っている。お互いを認め合いながら、フラットな関係で地域のことを一緒に考えています。

◇村のいまとこれからをつなぐこと

「地域に関わることってめんどくさかったりするけど、動かなければわからないことがある。一人だとアイデアはあっても行動に移すのは難しい。でも背中を押してくれるみんながいるから動けるんです」「大人が楽しそうに地域を思っていないと、その背中を見る子どもたちは村から離れたら本当に帰ってこない気がする。小谷を『楽しい』と思って帰ってきてほしいじゃないですか。そのためのひとつがわくわくおたりいちで、これはゴールじゃないんです」メンバーの言葉の向こうにはそれぞれが想う「ヒト」が見える言葉でした。

田んぼや風景だけではない、むらの暮らしをつくる地域の「あんしん」を将来に残していきたい。そんな想いがメンバーの気持ちと地域を豊かにする原動力になっていました。

「ちょっとよつアガし」

なんだか わくわくしたり
なんてか ほっとできたり
気軽にお茶を飲んだり
おしゃべりしたり

そんな人の集まる居場所をつくらう

私たちわくわくおたり実行委員会はそのような活動をしています。

よっ! 新風人

毎号福祉の現場に新しい
風を吹き込むスタッフをご紹介します。

社会医療法人 恵に会(佐久市)
ピアサポートセンターもちづき
介護職員 竹花大生さん



webでも
ご覧になれます

障 がいのある方の居場所や、明るくのびのびと過ごせる空間になるよう配慮し、個々の特性を考えた支援を行うピアサポートセンターもちづき。一人一人と向き合いながら常に研鑽を重ねる入社5年目の竹花大生さんにお聞きしました。

Q 今のお仕事の内容を教えてください。

A 放課後等デイサービスや訪問介護等の仕事を兼務しています。同じご利用者に対しても、状況が変われば関わり方も異なります。積極的すぎず消極的すぎず、様子を見ながらアプローチの仕方を考えています。

Q 印象的だったことは何ですか。

A 入社2、3年目の頃、把握しておくべきことを先輩から聞かれ、答えられなかったことがありました。この経験から、不十分な支援がご利用者に対して失礼な対応につながってしまうことを学び、自分に何ができるか、何をすべきかを考えるようになりました。

Q 大切にしていることは何ですか。

A 嫌なことがあっても、ご利用者と関わる際には切り替えるよう心がけています。また、ご利用者との関わりに正解はありませんが、毎日様々なことを教わりながら自分が成長できているというのを忘れずに、ご利用者のために何ができるかを考えるようにしています。



人と楽しく関わることができる仕事。明るく元気な対応を心がけている。



広報誌、ホームページ、ブログ等様々な形で日々の出来事を紹介。



さらにより良い支援につながれば、と介護福祉士の資格取得を目指す竹花さん。



職員それぞれの目線でご利用者を見守り、連携しながら支援を行っている。

柔らかい雰囲気ながらも自分の考えを持ち、お仕事に活かしている竹花さん。ご利用者からは「タケपी」「タケちゃん」と慕われているそうです。上司も「ご利用者の良いお兄さんの存在です。少しずつ、ご利用者の相談役サポート役になつてほしいです」と期待を寄せてくれました。そんな竹花さんが福祉の道に進んだきっかけとは？ 続きはQRコードからご覧いただけます。

今月の逸品

世界にひとつだけの〇〇で、
あなたの想いを届けます

牛乳パック等を再利用した手漉き紙は一枚一枚風合いが異なり、まさに世界にひとつだけです。名刺は相手の方々に深い印象を残す、と評判です。葉書やメッセージカード、一筆箋や封筒、団扇やカレンダー等も是非♪ 季節の新作にあなたの想いを託してみたいかがですか。



社会福祉法人諏訪市社会福祉協議会
諏訪市福祉作業所さざ波の家
〒392-0007 長野県諏訪市清水3-3663
Tel/Fax: 0266-52-3649

- ・手漉き名刺：20円(片面)～
- ※枚数は別途ご相談ください
- ・手漉き葉書：無地50円, イラスト入り80円～
- ・手漉きメッセージカード：150円～ etc...

ざわめくアート



『花』 パステル、カラーボールペン

作者:古市 津喜子(ふるいち つきこ) 59歳 上田市在住

何ともしつまして、柔らかい花の絵である。制作年は10数年前のものだが、当時サポートスタッフからパステルの使い方を教えてもらい、柔らかい色合いで、野の花を描くようになった。いつも微笑みを絶やさず、穏やかな女性の作者の人格そのものが現れている。絵がそれを観る私たちにも『心のとげとげを無くして、もっと柔らかく生きていこうよ』と言っているかのようだ。

(ながのアートミーティング 取材)

●ご感想、お問合せ、
掲載希望等は下記へお寄せください。

webでもご覧になれます

長野県社会福祉協議会
総務企画部 総務グループ
TEL 026-228-4244
FAX 026-228-0130
E-mail soumu@nshyakyu.or.jp

